

# プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

## 【概要】

### 1. 設立

平成10年（1998年）4月15日

### 2. 設立の目的

- ・特定事業者及び関連事業者の意思統一機関
- ・合理的な再商品化システムの構築
- ・そのシステムの円滑の運用に向けた体制整備と普及・啓発

### 3. 名称

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会（任意団体）  
（Plastic Packaging Recycling Council（PPRC））

### 4. 事務所所在地

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 日本酒造会館3階  
TEL. 03-3501-5893 FAX. 03-5521-9018 URL : <http://www.pprc.gr.jp>

### 5. 事業内容

- ・プラスチック製容器包装の再商品化システムの構築と必要な制度整備への提言
- ・プラスチック製容器包装の再商品化手法の調査及び提言
- ・再商品化製品の用途拡大の支援
- ・公益財団法人日本容器包装リサイクル協会との連携、リサイクル事業者、消費者、自治体、特定事業者との連携・協働・交流

### 6. 会員

- ・特定事業者及び一部再商品化事業者
- ・会員数（2012年11月末現在）：92会員（団体会員：32，企業会員：61）

### 7. 代表者

〈会長〉	小林三喜雄	花王株式会社（日本石鹼洗剤工業会）
〈副会長〉	河合義雄	株式会社ニチレイ（社団法人日本冷凍食品協会）
	森本 廣	山崎製パン株式会社（一般社団法人日本パン工業会）
	渡邊孝正	一般社団法人日本乳業協会
	米田幸生	日清食品ホールディングス株式会社 （社団法人日本即席食品工業協会）
	水野靖彦	日本プラスチック工業連盟
〈専務理事〉	久保直紀	プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

# プラスチック製容器包装に係る自主行動計画の 2011年度 フォローアップ報告

## 1. 3Rの取り組み状況

当協議会は、第一次自主行動計画に引き続き、会員の団体、企業と密接な連携をとり、第二次自主行動計画の2015年度目標達成に向けて、積極的な取組みを進めています。まず初年度である2011年度の3R推進の進捗を以下のとおり報告いたします。

### 1-1. 削減率(リデュース)

**使用量**：プラスチックの使用量を①公益財団法人日本容器包装リサイクル協会（以下、容リ協会と略）への再商品化委託申込み量で算出した団体と、②総量(実際の使用量)で算出した団体の何れかによって集計しました。 単位：千トン

	基準年	第一次最終年	第二次初年度
	2004年度	2010年度	2011年度
使用実績	313	472	451
団体数	12	16	15

**削減量**：また年度毎に削減量を、①削減事例から削減量を算出した団体と、②原単位から削減量を算出した団体の何れかによって集計しました。 単位：千トン

	基準年	第一次	第二次初年度	2005～2011 年削減量
	2004年度	2005～10年度	2011年度	
削減実績	—	51.4	1.1	52.5
団体数	—	11	10	—

**削減率**：団体会員が把握した2005年から2011年の削減率は、以下の通りです。

A分子＝プラの削減量： 52.5千トン

B分母＝プラの使用量： 503.5千トン

削減率は  $A \div B = 52.5 \text{千トン} \div 503.5 \text{千トン} = 10.4\%$

よって、2005年から通算で7年間で削減した率は**10.4%**となりました。

数値目標

13%

### 1-2. 再資源化率(リサイクル)

単位：千トン

	2010年度	2011年度
再商品化量	419.6	427.1
自主的回収	11.7	10.2
合計	431.3	437.4
排出見込み量	1,054.8	1,077.2
再商品化率	40.9%	<b>40.6%</b>

「再資源化率」算出方法

$\frac{\text{再商品化量}^{*1} + \text{店頭回収量}^{*2}}{\text{排出見込み量}^{*1}}$

排出見込み量<sup>\*1</sup>

\*1 容リ協会公表値 \*2 実績値

数値目標

44%

## 2. 連携の取組み事例

### 2-1 自治体と事業者の交流会

自治体・事業者の取組み事例を基に、リサイクルや3Rの在り方や、日頃の疑問点・課題を話し合うことにより、主体間の連携・協働を深めた。

「第6回自治体と事業者の交流会」を「プラ容器包装リサイクルについての相互理解を深め、連携・協働へ」をテーマに開催した。

パネルディスカッションでは消費者、自治体、再商品化事業者、特定事業者のそれぞれの立場から再商品化のあり方について意見交換を行った。



【第6回交流会】

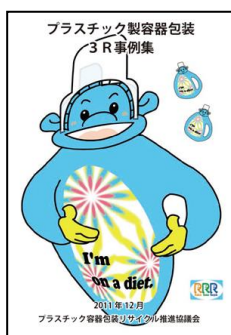


【パネルディスカッション】

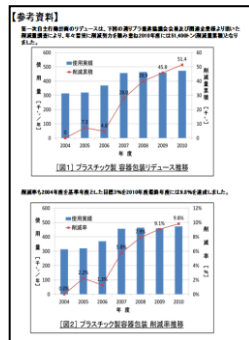


### 2-2 環境配慮設計と3R事例

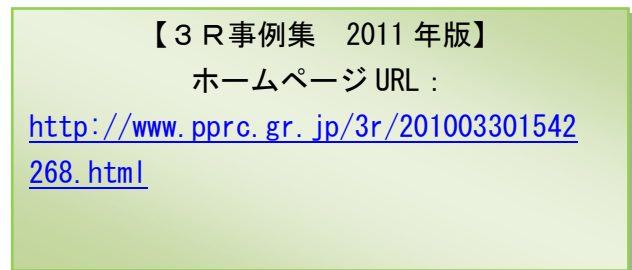
リデュースを中心に、日頃の成果を事例集として第4版目となる3R事例集にまとめた。また、2008年～2010年迄の事例も掲載した。



【2011年3R事例集】



【削減推移】



【2011年度版3R事例集掲載】

### 2-3 エコプロダクツ2011

2011年度は、「リサイクルの見学」と題して、再商品化手法のコークス炉化学原料化と材料リサイクルの工場を再現し、その流れとどのような製品に生まれ変わるかを学べる場を提供しました。

